

ご予約・お問い合わせ専用電話 070-5061-1594

受付時間 8:30~17:00 (土日祝日・年末年始を除く)



病児保育はこちらから

おやべにこにこ園

検索



春になり入園・入学などで新しい生活が始まったお子さんもおられますね。今回は、春から初夏にかけて比較的増える溶連菌感染症とお薬の飲み方について取り上げたいと思います。

溶連菌感染症

主な症状

- のどの痛みと発熱、悪化すると体に赤い発疹が現れます。
- いちご舌と呼ばれる舌にぶつぶつが現れることもあります。
- 嘔吐などの消化器症状が起こることもあります。



登校登園基準

治療（抗菌剤内服）開始24時間以降、発熱などの症状が落ち着いたことが登園・登校のめやすになります。

自然に症状がおさまることもありますが、無治療あるいは不十分な治療では、回復後に腎臓に合併症（急性糸球体性腎炎）をおこしたり、リュウマチ熱、紫斑病等の原因にもなることもあります。



お薬の飲み方

お薬の服用に「食前・食間・食後」などありますが、それぞれ服薬時間の目安があります。



お薬の苦手なお子さんは、服薬ゼリーを利用したり、水薬や粉薬をアイスやプリン、ジュースなど嗜好品にまぜる方法もあります。

- ※ まぜて時間をおくとも苦くなってしまうものもあります。
- ※ 一緒に服用してはいけないものや苦味が増す場合もありますので、お医者さんや薬剤師さんにご相談ください。



体調が悪いときも、これだけは食べたり飲んだりしてくれるというものや、ご飯やミルクにお薬を混ぜてしまうと、食べたり飲んだりできなくなってしまうことがあります。

病気を治したり体の不快な症状を和らげてくれるお薬、飲んで楽になってくれたら嬉しいですね。病児保育室ではこの事と、お薬が苦手なお子さんには少しでも飲んでくれたら頑張ってくれてありがとうとお伝えしています。お薬の時間が保護者の方の笑顔の時間となりますように。

そのため自己判断せず、小児科などを受診することが大切です。